

新議長・副議長に聞く

5月15日に開かれた本会議で、議長・副議長の選挙を行い、議長に三好宏議員、副議長に尾倉あき子議員が選任されました。議会の顔である2人に、市政の課題について聞きました。

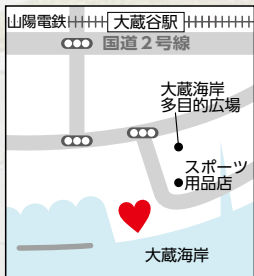
副議長
おぐら
尾倉 あき子

在職3期目。
監査委員、生活文化常任委員長、
総務常任副委員長など歴任。
57歳・樽屋町

議長
みよし ひろし
三好 宏

在職3期目。
副議長、監査委員、総務常任
委員長、文教厚生常任委員長
など歴任。
51歳・西明石南町2丁目

明石の撮影スポット『アモーレ♥明石』(大蔵海岸公園内)



明石観光PR隊(明石観光協会のボランティア組織)のキャッチコピーが、「アモーレ♥明石」に決まったことにちなみ、同隊が赤いハートマークを描き、この撮影スポットが新たな観光名所になるようPRしています。

※アモーレ…イタリア語で愛する人

アモーレ♥明石

三好議長に聞く

中核市へ移行

平成30年4月の中核市移行に向け準備を進めています。中核市への移行自体が目標ではなく、大切なのは、あくまでも市民サービスを向上させることです。もっと住みたい、住み続けたいまち明石が実現できるように、二元代表制の一翼を担う議会として、しっかりと議論していきます。

市庁舎の建て替え

市庁舎は市民サービスやまちづくりの要となり、災害時は重要な拠点にもなります。規模、機能、安全性、利便性、

尾倉副議長に聞く

こどもを核としたまちづくり

中学生以下の医療費無料化や保育料第2子以降無料化などを実施し、人口が増加傾向にあります。一方、急増する保育所の入所希望者に対応するため定員増に取り組んでいます。残念ながら待機児童解消には至っていません。この課題については保育の質を確保することも大切であると考えています。

健全な財政運営

特色ある施策を実施していますが、同時に財政の健全化にも取り組まなければなりません。負担

市民の皆様へ

財源など、さまざまな意見があることを認識した上で、幅広い視野で考えなければなりません。昨年(2016年)は明石商業高等学校野球部の甲子園出場、Bリーグランプリスペインでゴールドグランプリ受賞などの明るい話題がありました。今年(2017年)は次の時代を見据えたまちの礎を築く大切な一年になると考えています。ますますの市政発展と市民の幸せのため、全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いします。

市民の皆様へ

本市は子育て支援や障害者施策をはじめ、市民が安全で安心して暮らせるまちとして他市に先駆けた新たな施策を数多く実施しており、全国から注目を浴びるまちとなっています。このような中、女性ならではの視点での提言や、女性が活躍できる社会の実現に向けた取り組みにも力を注いでまいります。